

追加型投信 / 内外 / 株式

## グローバル・スマート・イノベーション・オープン

情報提供資料  
2021年12月

(年2回決算型) / (年1回決算型) (愛称: iシフト)

(年2回決算型) 為替ヘッジあり / (年1回決算型) 為替ヘッジあり (愛称: iシフト (ヘッジあり))

## 決算・分配金のお知らせと運用状況等について

平素は、当ファンドをご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。このたび決算を迎え、分配金は以下の通りとなりましたのでご報告いたします。あわせて本レポートでは、当ファンドの実質的な運用を行うティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク（以下、ティー・ロウ・プライス）のコメントを基に、当ファンドの運用状況と運用のポイント等をご説明いたします。今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 分配金実績と基準価額（決算日：2021年12月6日時点）

## （年2回決算型）

| 分配金<br>(1万口当たり、税引前) | 基準価額    |
|---------------------|---------|
| 906円                | 10,000円 |

【直近4期分の分配金実績(1万口当たり、税引前)】

| 第9期<br>(2020/6) | 第10期<br>(2020/12) | 第11期<br>(2021/6) | 第12期<br>(2021/12) | 設定来<br>累計   |
|-----------------|-------------------|------------------|-------------------|-------------|
| 2,225<br>円      | 3,418<br>円        | 1,091<br>円       | 906<br>円          | 12,518<br>円 |

## （年1回決算型）

| 分配金<br>(1万口当たり、税引前) | 基準価額    |
|---------------------|---------|
| 100円                | 29,802円 |

【直近4期分の分配金実績(1万口当たり、税引前)】

| 第3期<br>(2018/12) | 第4期<br>(2019/12) | 第5期<br>(2020/12) | 第6期<br>(2021/12) | 設定来<br>累計 |
|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------|
| 100<br>円         | 100<br>円         | 100<br>円         | 100<br>円         | 500<br>円  |

## （年2回決算型）為替ヘッジあり

| 分配金<br>(1万口当たり、税引前) | 基準価額    |
|---------------------|---------|
| 535円                | 10,001円 |

【直近4期分の分配金実績(1万口当たり、税引前)】

| 第7期<br>(2020/6) | 第8期<br>(2020/12) | 第9期<br>(2021/6) | 第10期<br>(2021/12) | 設定来<br>累計   |
|-----------------|------------------|-----------------|-------------------|-------------|
| 1,882<br>円      | 3,780<br>円       | 487<br>円        | 535<br>円          | 10,053<br>円 |

## （年1回決算型）為替ヘッジあり

| 分配金<br>(1万口当たり、税引前) | 基準価額    |
|---------------------|---------|
| 100円                | 23,927円 |

【直近4期分の分配金実績(1万口当たり、税引前)】

| 第2期<br>(2018/12) | 第3期<br>(2019/12) | 第4期<br>(2020/12) | 第5期<br>(2021/12) | 設定来<br>累計 |
|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------|
| 100<br>円         | 100<br>円         | 100<br>円         | 100<br>円         | 500<br>円  |

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

- ・基準価額は、1万口当たりであり、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

※本レポート内ではファンドの名称について、グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年2回決算型)を「(年2回決算型)」、グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年1回決算型)を「(年1回決算型)」、グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年2回決算型)為替ヘッジありを「(年2回決算型) 為替ヘッジあり」、グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年1回決算型)為替ヘッジありを「(年1回決算型) 為替ヘッジあり」という略称で記載する場合があります。また、これらを総称して「当ファンド」、各々を「各ファンド」という場合があります。

※本レポート内で記載しているマザーファンドは、当ファンドの実際の運用を行うグローバル・スマート・イノベーション・マザーファンドを指します。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

## 市況動向と運用状況 (2020年12月7日～2021年11月26日)

## 市況動向

- **世界株式**：①ワクチンの普及による新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）収束への期待の高まり、②バイデン米大統領の追加景気対策を受けた米国の景気回復、③主要企業の堅調な業績などを背景に上昇しました。新型コロナの影響により落ち込んでいた需要が回復する一方で、供給サイドの混乱などから広範な物価上昇がみられ、インフレ加速への懸念が相場の上値を抑える場面もありましたが、主要国の中央銀行が緩和的な金融政策の修正には慎重に臨む姿勢を維持したことなどが、株価上昇につながったと考えています。
- **世界情報技術株式**：当該期間においては、大手テクノロジー企業を中心に多くの企業が堅調な業績を維持したことなどから、世界株式を上回る上昇となりました。

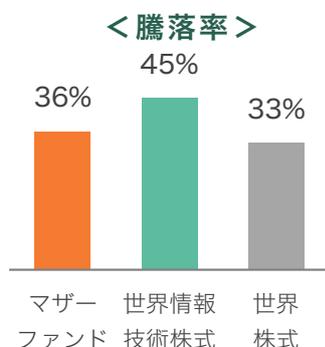
## マザーファンドの運用状況

- 高い成長ペースの維持が見込まれるテクノロジー企業への投資を選好し、組入上位銘柄がおおむね堅調な業績となったことなどを背景に、マザーファンドは上昇しました。一方マイナス面としては、①巨大テクノロジー企業（マイクロソフトやアップル）を非保有にしたこと、②当ファンドが上位で組み入れている新型コロナの巣ごもり需要で急成長した一部のテクノロジー企業が2021年11月下旬に下落したことなどがありました。

## ＜マザーファンドと指数の推移＞



## 《Closeup》 2020年12月7日～2021年11月26日



(出所) ティー・ロウ・プライスのコメントおよびBloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

(期間) 上段：2015年12月16日～2021年11月26日、日次 下段：2020年12月7日～2021年11月26日、日次

・上記はマザーファンドの運用実績であり、当ファンドの運用実績ではありません。マザーファンドでは、信託報酬はかかりません。世界株式、世界情報技術株式は、指数（米ドルベース）を使用しており、三菱UFJ国際投信が円換算しています。また同指数は、マザーファンドの基準価額の算出基準日に対応する現地時間に基づき記載しております。なお同指数は、あくまで市況動向の参考として掲載しており、当ファンドおよびマザーファンドのベンチマークではありません。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

## 銘柄別パフォーマンス寄与度 (2020年12月7日～2021年11月26日)

・下記は、マザーファンドにおける銘柄別パフォーマンス寄与度上位・下位10銘柄です。

### ■ 上位10銘柄

- 保有銘柄のうち、下記のように複数の銘柄がプラスに寄与しました。新型コロナの世界的な流行により普及したデジタル化の恩恵を受けると考えるソフトウェア・サービスのアトラシアンやハブスポット、在宅時間長期化でユーザー数が増えたゲーミング・プラットフォーム運営のロブボックス、行動制限で恩恵を受けたeコマース（電子商取引）の中でも規制強化の影響が軽微であることが好感されたシー、コロナ禍で物流が滞る中でも相対的に業績が堅調だった自動車・自動車部品のテスラなどがパフォーマンスにプラスに寄与しました。

|    | 銘柄名                | 業種          | 寄与度  |
|----|--------------------|-------------|------|
| 1  | シー                 | メディア・娯楽     | 4.4% |
| 2  | アトラシアン             | ソフトウェア・サービス | 3.8% |
| 3  | ロブボックス             | メディア・娯楽     | 3.6% |
| 4  | ハブスポット             | ソフトウェア・サービス | 3.6% |
| 5  | ショッピングファイ          | ソフトウェア・サービス | 3.0% |
| 6  | テスラ                | 自動車・自動車部品   | 3.0% |
| 7  | ASMLホールディング        | 半導体・半導体製造装置 | 2.2% |
| 8  | クラウドストライク・ホールディングス | ソフトウェア・サービス | 1.8% |
| 9  | ビルドットコム・ホールディングス   | ソフトウェア・サービス | 1.7% |
| 10 | TSMC/台湾セミコンダクター    | 半導体・半導体製造装置 | 1.4% |

### ■ 下位10銘柄

- 保有銘柄のうち、パフォーマンスにマイナスに寄与した銘柄は下記の通りです。そのうち、Web会議システムを提供するズーム・ビデオ・コミュニケーションズが大きく影響しました。同社に対して長期的な成長性を有すると見込むものの、市場ではコロナ後の成長ペースに対する懸念が台頭し株価が軟調に推移したことなどがマイナスに影響しました。長期的な成長性を有するという同社に対する見方は基本的に変わりませんが、今後の業績見通しやその確実性について改めて精査し、株価水準に注視し慎重に投資しました。

|    | 銘柄名                     | 業種          | 寄与度   |
|----|-------------------------|-------------|-------|
| 1  | ズーム・ビデオ・コミュニケーションズ      | ソフトウェア・サービス | -2.4% |
| 2  | オープンドア・テクノロジーズ          | 不動産         | -0.7% |
| 3  | ペロトン・インタラクティブ           | 耐久消費財・アパレル  | -0.7% |
| 4  | クーバン                    | 小売          | -0.6% |
| 5  | ビリビリ                    | メディア・娯楽     | -0.6% |
| 6  | アドバンスト・マイクロ・デバイセズ (AMD) | 半導体・半導体製造装置 | -0.2% |
| 7  | カーバナ                    | 小売          | -0.2% |
| 8  | マガジネ・ルイーザ               | 小売          | -0.2% |
| 9  | クーパ・ソフトウェア              | ソフトウェア・サービス | -0.1% |
| 10 | スプランク                   | ソフトウェア・サービス | -0.1% |

(期間) 2020年12月7日～2021年11月26日

(出所) コメント：ティール・ロウ・プライスからの情報を基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は当ファンドのご理解を深めていただくために、マザーファンドにおける銘柄別パフォーマンス寄与度上位・下位10銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・寄与度は、上記期間中のマザーファンドの基準価額の変動において、各銘柄の変動がどれだけ影響しているかを示したものです。実際の基準価額の騰落に対する寄与度を正確に説明するものではなく、傾向を知るための参考値としてご覧ください。各銘柄の日次の保有比率および株価を基に計算した概算値であり、実際の取引価格やファンドが負担するコスト（売買手数料や信託報酬など）などは考慮されていません。また、外貨建ての銘柄については、円換算済みの概算値となっています。なお、マザーファンドにおける各銘柄の保有期間は異なります。・業種はGICS（世界産業分類基準）の産業分類によるものです。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

## 運用のポイント

### ポイント①

### 変化を見極め、様々な成長機会をとらえる

- テクノロジー企業は大きく成長することがある一方で、変化のスピードが速い傾向があり、今後成長していく企業を見極めていくことが重要と考えています。そこで当ファンドでは、投資対象を情報技術だけでなくその派生分野に関連する企業の株式等に広げ、急速に変化するテクノロジー領域において、**変化を見極め様々な成長機会をとらえることをめざします。**
- またその中でも、当ファンドは、**革新的技術等がもたらす変革（イノベーション）に着目し、例えば変化する市場に対応する技術やビジネスモデルを有すると考えられる企業に投資します。**



・写真はイメージです。

下記では、変化を見極め、イノベーションに着目する当ファンドの投資行動について、2021年10月末における組入上位3銘柄を用いてご説明いたします。

## 組入上位3銘柄のご紹介

### 組入1位

### シー

### メディア・娯楽

**<企業概要>** オンライン・デジタル・コンテンツ、eコマース、決済プラットフォームを提供するシンガポールに本社を置く企業。2017年にニューヨーク証券取引所に上場。

## 評価のポイント：ビデオ・ゲーミング×金融×eコマースの相乗効果

- 成長著しい東南アジアを中心に事業を展開。同社の代表作「Free Fire」は、世界中で多くの人にダウンロードされているモバイルゲームで、「Free Fire」のグッズを自社のeコマースサイトで取り扱うなど、優位性を誇るゲーミングを足掛かりに他の事業の成長を図っている。
- 先進国を上回るペースでの経済成長が期待される新興国での寡占的な地位を背景に今後も長期にわたる業績拡大に期待。

### <株価と組入比率の推移>



（出所）ティー・ロウ・プライスのコメント・資料、企業HP、各種資料およびBloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成（グラフ期間）2019年1月2日～2021年10月29日、株価は日次、組入比率は月次

・組入比率はマザーファンドにおける純資産総額に対する比率です。上記は2021年10月末時点における、当ファンドの組入上位3銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・業種はGICS（世界産業分類基準）の産業分類によるものです。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

## 運用のポイント

組入2位

### アトラシアン ソフトウェア・サービス

**<企業概要>** 主に、ソフトウェア開発者向けのソフトウェアを提供するオーストラリアに本社を置く企業。2015年にNASDAQ市場に上場。

#### 評価のポイント：クラウド移行等からの恩恵、営業費用を抑えたビジネスモデル

- 課題・プロジェクトの進捗を追跡する「Jira Software (ジラ ソフトウェア)」をはじめとしたプロジェクト開発の負担を軽減するソフトウェアを提供、世界中で利用されている。
- 同社はロコミを重視し、営業・マーケティング費用を抑制。①プロダクトの問題点を徹底的に洗い出し機能性や利便性を向上させ、②ターゲットとなる顧客層を特定する、という成長モデルで、シェア拡大に期待。

#### <株価と組入比率の推移>



組入3位

### ハブスポット ソフトウェア・サービス

**<企業概要>** クラウドベースのマーケティングと販売ソフトウェア・プラットフォームを提供する米国の企業。2014年にニューヨーク証券取引所に上場。

#### 評価のポイント：質の高い経営陣、プロセスのデジタル化の恩恵

- 最先端の機能と使いやすさを両立させたインバウンドマーケティングツール「HubSpot(ハブスポット)」を提供。ブログやランディングページなどを通じて消費者を引き寄せ、顧客へと変えるインバウンドマーケティングをスムーズにできるよう開発した同社のツールは、世界中で利用されている。
- 顧客情報管理システム、マーケティング支援ツール、営業支援ツール、カスタマーサービス支援ツール等、複数のツールを一つのシステムに集約することで統合的なデータ管理を提供、需要拡大に期待。



(出所) ティー・ロウ・プライスのコメント・資料、企業HP、各種資料およびBloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成 (グラフ期間) 2019年1月2日～2021年10月29日、株価は日次、組入比率は月次

・組入比率はマザーファンドにおける純資産総額に対する比率です。上記は2021年10月末時点における、当ファンドの組入上位3銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・業種はGICS (世界産業分類基準) の産業分類によるものです。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

## 運用のポイント

### ポイント②

### 変化に対応する迅速な投資行動

当ファンドでは、独自の調査などで得たより正確な情報を基に投資判断を行います。変化の速いテクノロジー領域の動向に注視し、保有銘柄を単純に持ち続けること（バイ・アンド・ホールド）はせずに機動的な投資スタンスで運用を行うことをめざします。

#### 1. 変化の潮流をいち早く見極める

（ご参考）企業面談回数

年間  
**14,000**回以上

- 当ファンドの実質的な運用を行うティール・ロウ・プライスでは、グループ全体で年間14,000回以上（2020年）の企業面談を行っています。そこで得た情報は当ファンドの運用にも活かされています。

（ご参考）筆頭株主の銘柄数

**6**銘柄/**10**銘柄

- 2021年6月末時点でティール・ロウ・プライス・グループは、当ファンドの組入上位10銘柄のうち6銘柄について、筆頭株主でした。大株主として培った経営陣との関係性を強みに、変化の潮流を早く見極めるための機会を持っています。

・上記は、2021年10月末時点での当ファンド組入上位10銘柄を対象に、各企業の株主順位において筆頭株主となる銘柄の数（機関投資家の最終親会社ベース。パッシブ運用分除く）。

#### 2. 独自の投資判断／迅速な投資行動

- 当ファンドでは企業面談で入手した情報などを基に調査分析を行い、独自の投資判断を行います。
- また、変化を見極め機動的な投資スタンスで運用を行います。

アクティブシェア

対世界情報技術株式  
**88%**

アクティブシェアとは、ファンドの組入銘柄が指数（世界情報技術株式）とどの程度異なるかを見る指標のことで、一般的にアクティブシェアが高いほど指数と異なることを示します。

（時点）2021年10月末

- ・上記は、マザーファンドにおけるアクティブシェアおよび売買回転率です。
- ・アクティブシェア：指数を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。なお、当ファンドおよびマザーファンドのベンチマークではありません。
- ・売買回転率：上記時点から過去3年間における売買回転率（年率）です。

売買回転率

過去3年  
年率**112%**

売買回転率とは、ファンドに組み入れている証券の売買頻度を見る指標のことで、一般的に売買回転率が高いほど、取引が活発に行われていることを示します。

（出所）ティール・ロウ・プライスのコメント・資料を基に三菱UFJ国際投信作成

・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

## ■ 今後の見通しと運用方針 (2021年11月26日時点)

### 今後の見通し

- コロナ禍による一過性の需要の恩恵を受ける企業ではなくて、今後はより長期の構造変化やライフスタイルの変化の恩恵を受ける企業、長期的に利益成長が期待できるような銘柄を見極めることがより重要になってくると考えています。
  - **eコマースの成長**：オンラインで買い物をしたり、遊んだり、交流したりしたいという人々の欲求を理解し、事業に活用できる企業は今後も力強い成長を遂げると考えています。
  - **クラウド関連ビジネス**：新型コロナは、同ビジネスの急成長のきっかけとなりましたが、クラウドによる変革はまだ初期の段階にあり、今後も多くの投資家に前向きなサプライズをもたらす可能性があると考えています。
  - **一部のソフトウェア企業が提供するサービス**：コロナ禍でその価値が見出され、あるいは見直されたクオリティの高い一部のソフトウェア企業が提供するサービス（協業支援ツール、複数のアプリの認証管理ツール、サイバーセキュリティ・ソフトウェア等）は、経済の正常化によっても陳腐化することなく利用され続ける可能性があると考えています。
- 基本的には、多くのテクノロジー関連銘柄のファンダメンタルズ（企業の財務状況）は依然として強く、足元の利益成長や見通しも良好と見ています。また、革新的なテクノロジーはもはやあらゆるセクター、分野に影響を及ぼしていますので、イノベーションを生み出すような企業やその恩恵を受けるような企業は今後も高い成長を続けると考えています。

### 今後の運用方針

- 様々なトレンドを注意深く追い続け、先進国、新興国の双方で、テクノロジーの急速な進歩を先導する企業、あるいはイノベーションの恩恵を受ける企業の見極めに注力したいと考えています。
- 最後に、分野別の運用方針を2点、ご紹介します。
  - **インターネット**：データのプライバシーや製品の安全性、独占禁止法などに関連したリスクが高まっていることから、当ファンドでも大手企業に慎重な姿勢を強めています。eコマースやデジタル広告の世界では、これまでユーザーを識別し、刺激し、惹きつけるために標準的だった手法が、規制当局の監視強化だけでなく、第三者のプラットフォーム上でも制限を受けようになっています。とはいえ、情勢はまだ流動的ですし、これが業界内の新たな取り組みや投資機会につながるきっかけにもなりうると考えています。
  - **半導体**：近い将来、在庫が急速に是正される可能性があるため、慎重な姿勢を崩さず、サイクルを通じて永続的な成長を遂げられる企業に焦点を絞っていく方針です。

(出所) ティー・ロウ・プライスのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成

市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。



当ファンドの  
イメージ動画もぜひご覧ください！

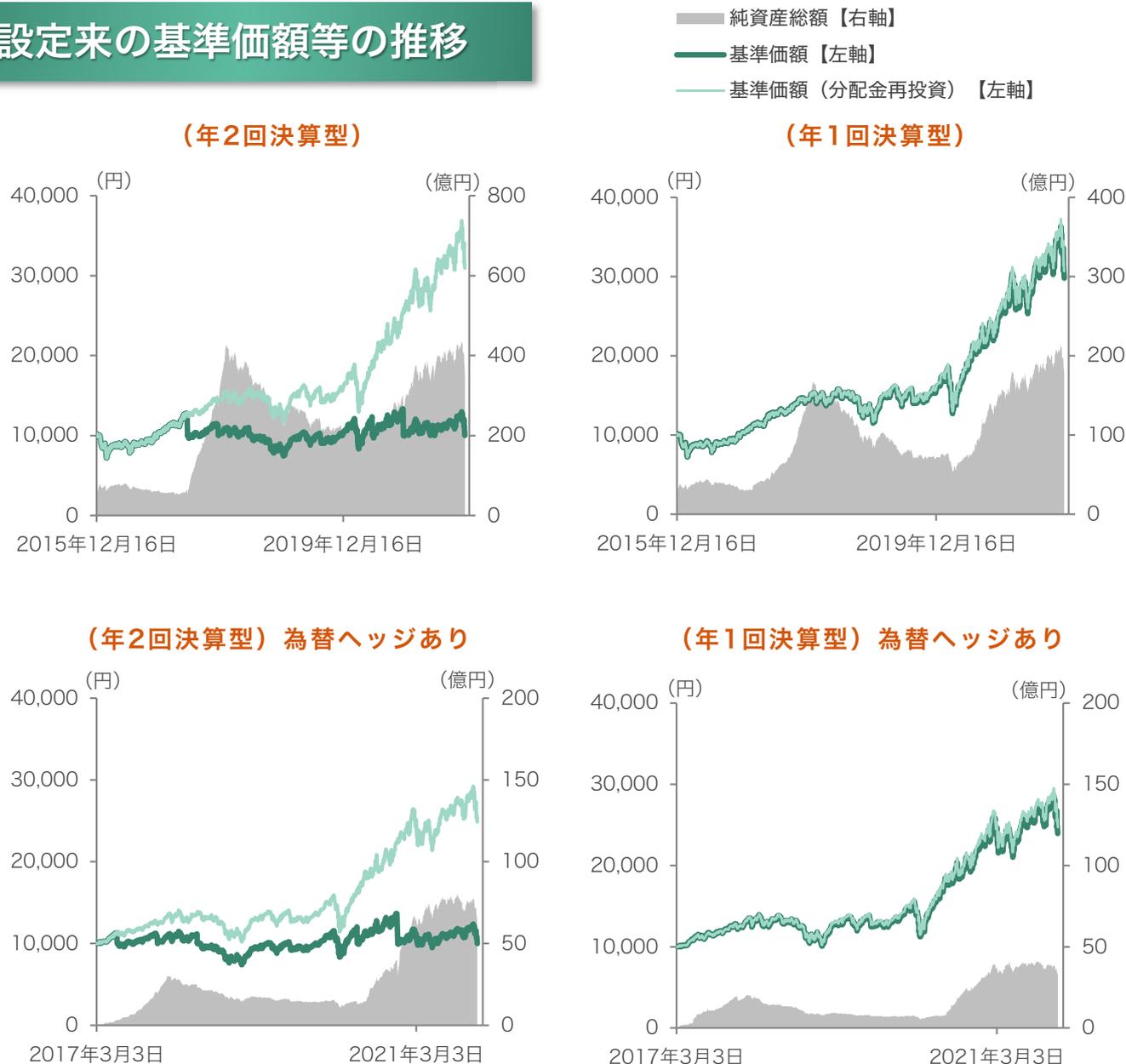
動画はこちらから→

※動画は一定期間経過後に削除することがあります。



## 当ファンドの運用実績

### 設定来の基準価額等の推移



(期間) 上段グラフ：2015年12月16日（設定日）～2021年12月6日、日次

下段グラフ：2017年3月3日（設定日）～2021年12月6日、日次

・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、1万口当たりで運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

#### 【本資料で使用している指数について】

・世界株式: MSCI オールカントリー・ワールド インデックス、世界情報技術株式: MSCI オールカントリー・ワールド 情報技術 インデックス  
本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ (<https://www.am.mufig.jp/other/disclaimer.html>) を合わせてご確認ください。

【GICS（世界産業分類基準）について】 Global Industry Classification Standard（“GICS”）は、MSCI Inc.とS&P（Standard & Poor's）が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

## グローバル・スマート・イノベーション・オープン

(年2回決算型)/(年1回決算型)〈愛称：iシフト〉、(年2回決算型)為替ヘッジあり/(年1回決算型)為替ヘッジあり〈愛称：iシフト(ヘッジあり)〉

## ■ ファンドの目的

日本を含む世界各国の株式等を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざします。

## ■ ファンドの特色

1

情報技術およびその派生分野に関連する企業のうち、革新的技術等によって今後の成長が期待される企業の株式等に投資を行います。

2

株式等の運用にあたっては、ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクに運用指図に関する権限を委託します。

3

〈(年2回決算型) 為替ヘッジあり〉／〈(年1回決算型) 為替ヘッジあり〉原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

〈(年2回決算型)〉／〈(年1回決算型)〉原則として為替ヘッジを行いません。

4

〈(年2回決算型) 為替ヘッジあり〉／〈(年2回決算型)〉年2回決算を行い、収益の分配を行います。

〈(年1回決算型) 為替ヘッジあり〉／〈(年1回決算型)〉年1回決算を行い、収益の分配を行います。

〈(年2回決算型) 為替ヘッジあり〉／〈(年2回決算型)〉

◆ 毎年6月5日および12月5日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。(資金動向や市況動向等により変更する場合があります。)

〈(年1回決算型) 為替ヘッジあり〉／〈(年1回決算型)〉

◆ 毎年12月5日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

### 収益分配方針

- 分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## グローバル・スマート・イノベーション・オープン

(年2回決算型)/(年1回決算型)〈愛称：i シフト〉、(年2回決算型)為替ヘッジあり/(年1回決算型)為替ヘッジあり〈愛称：i シフト(ヘッジあり)〉

## 投資リスク

## ■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

## 価格変動リスク

- 株式の価格は、国内および国際的な政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等の影響を受け変動します。株式の価格が変動すれば当ファンドの基準価額の変動要因となります。また、当ファンドは、特定のテーマ(情報技術およびその派生分野)に沿った銘柄に投資するため、株式市場全体の動きと当ファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、より幅広い銘柄に分散投資する場合と比べて当ファンドの基準価額が大きく変動する場合があります。
- リートの価格は、当該リートが組入れている不動産等の価値や賃料等に加え、様々な市場環境等の影響を受けます。リートの価格が変動すれば当ファンドの基準価額の変動要因となります。

## 為替変動リスク

## ■ グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年2回決算型) 為替ヘッジあり / (年1回決算型) 為替ヘッジあり

ファンドは、世界各国の現地通貨建等の有価証券に投資します。外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。その場合、為替ヘッジ効果が得られない可能性や、円と当該通貨との為替変動の影響を受ける可能性があります。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨の金利より低いときには、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

## ■ グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年2回決算型) / (年1回決算型)

ファンドは、世界各国の現地通貨建等の有価証券に投資します。外貨建資産に投資を行いますので、投資している有価証券の

発行通貨が円に対して強く(円安に)なれば基準価額の上昇要因となり、弱く(円高に)なれば基準価額の下落要因となります。

## 信用リスク

投資している有価証券等の発行会社の倒産、財務状況または信用状況の悪化等の影響により、当ファンドの基準価額は下落し、損失を被ることがあります。

## 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは購入しようとする際に、買い需要がなく売却不可能、あるいは売り供給がなく購入不可能等となるリスクのことをいいます。例えば、市況動向や有価証券等の流通量等の状況、あるいは当ファンドの解約金額の規模によっては、組入有価証券等を市場実勢より低い価格で売却しなければならぬケースが考えられ、この場合には当ファンドの基準価額の下落要因となります。

## カントリー・リスク

有価証券等の発行国・地域の政治や経済、社会情勢等の変化(カントリー・リスク)により金融・証券市場が混乱して、価格が大きく変動する可能性があります。新興国のカントリー・リスクとしては主に以下の点が挙げられます。

- 先進国と比較して経済が一般的に脆弱であると考えられ、経済成長率やインフレ率等の経済状況が著しく変化する可能性があります。
- 政治不安や社会不安、他国との外交関係の悪化により海外からの投資に対する規制導入等の可能性があります。
- 海外との資金移動に関する規制導入等の可能性があります。
- 先進国とは情報開示に係る制度や慣習等が異なる場合があります。

この結果、新興国の有価証券等への投資が著しく悪影響を受ける可能性があります。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

## ■ その他の留意点

- 投資信託(ファンド)の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 当ファンドのお取引に関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

## グローバル・スマート・イノベーション・オープン

(年2回決算型)/(年1回決算型)〈愛称：i シフト〉、(年2回決算型)が替ヘッジあり/(年1回決算型)が替ヘッジあり〈愛称：i シフト(ヘッジあり)〉

ご購入の際は、投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。

## お申込みメモ

購入時

## 購入単位

販売会社が定める単位  
販売会社にご確認ください。

## 購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額  
※基準価額は1万口当たりで表示されます。

換金時

## 換金単位

販売会社が定める単位  
販売会社にご確認ください。

## 換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額

## 換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。

申込について

## 申込不可日

次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。  
・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日

## 申込締切時間

原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。

## 換金制限

各ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。

## 購入・換金申込受付の中止および取消し

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。

また、信託金の限度額に達しない場合でも、各ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。

## 信託期間

■(年2回決算型)が替ヘッジあり/(年1回決算型)が替ヘッジあり

2025年12月5日まで(2017年3月3日設定)

■(年2回決算型)/(年1回決算型)

2025年12月5日まで(2015年12月16日設定)

## 繰上償還

各ファンドについて受益権の口数が、10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。

## 決算日

■(年2回決算型)が替ヘッジあり/(年2回決算型)

毎年6・12月の5日(休業日の場合は翌営業日)

■(年1回決算型)が替ヘッジあり/(年1回決算型)

毎年12月5日(休業日の場合は翌営業日)

その他

## 収益分配

■(年2回決算型)が替ヘッジあり/(年2回決算型)

年2回の決算時に分配を行います。

■(年1回決算型)が替ヘッジあり/(年1回決算型)

年1回の決算時に分配を行います。

販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。

## 課税関係

課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

## スイッチング

各ファンド間でのスイッチングが可能です。販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。手続・手数料等は、販売会社にご確認ください。なお、換金時の譲渡益に対して課税されます。

## ファンドの費用

## ◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時

購入時  
手数料購入価額に対して、上限3.30%(税抜 3.00%)  
販売会社が定めます。  
くわしくは、販売会社にご確認ください。

換金時

信託財産  
留保額換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%を  
かけた額

## ◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中

運用管理費用  
(信託報酬)各ファンドの日々の純資産総額に対して、年率  
1.980%(税抜 年率1.800%)をかけた額その他の費用・  
手数料以下の費用・手数料についても各ファンドが負担します。  
・監査法人に支払われる各ファンドの監査費用  
・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に  
支払われる手数料  
・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管  
機関に支払われる費用  
・マザーファンドの換金に伴う信託財産留保額  
・その他信託事務の処理にかかる諸費用等  
※上記の費用・手数料については、売買条件等により  
異なるため、あらかじめ金額または上限額等を  
記載することはできません。

※(年2回決算型)が替ヘッジあり/(年2回決算型)：運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、各ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。

※(年1回決算型)が替ヘッジあり/(年1回決算型)：運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、各ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。

※実質的な投資対象である不動産投資信託証券には運用等にかかる費用が発生しますが、投資する不動産投資信託証券は固定されていない等により、あらかじめ金額および上限等を記載することはできません。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、各ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

## グローバル・スマート・イノベーション・オープン

(年2回決算型)/(年1回決算型)〈愛称：i シフト〉、(年2回決算型)が替ヘッジあり/(年1回決算型)が替ヘッジあり〈愛称：i シフト(ヘッジあり)〉

## 販売会社一覧情報

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

2021年12月6日現在

ファンド名称:グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年2回決算型)／(年1回決算型)

| 商号   | 登録番号等                     | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>日本<br>投資顧問業<br>協会 | 一般社団法人<br>金融先物<br>取引業協会 | 一般社団法人<br>第二種<br>金融商品<br>取引業協会 |
|--|---------------------------|---------|-----------------------------|-------------------------|--------------------------------|
| auカブコム証券株式会社                                     | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号   | ○       | ○                           | ○                       |                                |
| 株式会社SBI証券  | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号   | ○       |                             | ○                       | ○                              |
| おきぎん証券株式会社                                       | 金融商品取引業者 沖縄総合事務局長(金商)第1号  | ○       |                             |                         |                                |
| 東海東京証券株式会社                                       | 金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号  | ○       |                             | ○                       | ○                              |
| フィデリティ証券株式会社                                     | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号  | ○       | ○                           |                         |                                |
| PayPay銀行株式会社                                     | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号    | ○       |                             | ○                       |                                |
| 松井証券株式会社   | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号  | ○       |                             | ○                       |                                |
| マネックス証券株式会社                                      | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号  | ○       | ○                           | ○                       | ○                              |
| 株式会社三菱UFJ銀行                                      | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号      | ○       |                             | ○                       | ○                              |
| 株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者<br>三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社) | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号      | ○       |                             | ○                       | ○                              |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社                                    | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号     | ○       | ○                           | ○                       |                                |
| 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社                            | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号 | ○       | ○                           | ○                       | ○                              |
| 楽天証券株式会社   | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号  | ○       | ○                           | ○                       | ○                              |
| ワイエム証券株式会社(年1回決算型のみ取扱)                           | 金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第8号    | ○       |                             |                         |                                |

ファンド名称:グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年2回決算型)が替ヘッジあり／(年1回決算型)が替ヘッジあり

| 商号   | 登録番号等                     | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>日本<br>投資顧問業<br>協会 | 一般社団法人<br>金融先物<br>取引業協会 | 一般社団法人<br>第二種<br>金融商品<br>取引業協会 |
|--|---------------------------|---------|-----------------------------|-------------------------|--------------------------------|
| auカブコム証券株式会社                                     | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号   | ○       | ○                           | ○                       |                                |
| 株式会社SBI証券  | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号   | ○       |                             | ○                       | ○                              |
| おきぎん証券株式会社                                       | 金融商品取引業者 沖縄総合事務局長(金商)第1号  | ○       |                             |                         |                                |
| フィデリティ証券株式会社                                     | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号  | ○       | ○                           |                         |                                |
| PayPay銀行株式会社                                     | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号    | ○       |                             | ○                       |                                |
| 松井証券株式会社   | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号  | ○       |                             | ○                       |                                |
| マネックス証券株式会社                                      | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号  | ○       | ○                           | ○                       | ○                              |
| 株式会社三菱UFJ銀行                                      | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号      | ○       |                             | ○                       | ○                              |
| 株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者<br>三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社) | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号      | ○       |                             | ○                       | ○                              |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社                                    | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号     | ○       | ○                           | ○                       |                                |
| 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社                            | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号 | ○       | ○                           | ○                       | ○                              |
| 楽天証券株式会社   | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号  | ○       | ○                           | ○                       | ○                              |

・商号欄に\*の表示がある場合は取次販売会社です。・商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。

## 本資料のご利用にあたっての注意事項等

- 本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

## ●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

&lt;お客さま専用フリーダイヤル&gt; 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

## ●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社